【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2010-231228(P2010-231228A)
【公開日】平成22年10月14日(2010.10.14)
【年通号数】公開・登録公報2010-041
【出願番号】特願2010-124153(P2010-124153)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　15/05　　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/03　　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　 7/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　15/05
Ｇ０３Ｂ　15/03　　Ｗ
Ｇ０３Ｂ　 7/16

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月7日(2010.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マスタ閃光装置及びリモート閃光装置を含む複数の閃光装置から選択された第１グループに第１調光モードを対応付け、前記複数の閃光装置から選択された前記第１グループとは異なる第２グループに第２調光モードを対応付けることが可能な設定部と、
カメラボディから信号を受信可能であり、かつ、前記リモート閃光装置に対して信号を送信可能な送受信部と、
前記カメラボディからレリーズ信号に対応する信号を受信したとき、前記第１グループに属する前記リモート閃光装置に対して前記第１調光モードに対応する信号を送信し、前記第２グループに属する前記リモート閃光装置に対して前記第２調光モードに対応する信号を送信するように前記送受信部を制御する制御部とを含むことを特徴とするマスタ閃光装置。
【請求項２】
請求項１に記載されたマスタ閃光装置であって、
前記第１調光モード及び前記第２調光モードは、ＴＴＬ調光、外部調光、マニュアル調光、非発光から選択された何れか１つであることを特徴とするマスタ閃光装置。
【請求項３】
請求項１又は請求項２に記載されたマスタ閃光装置であって、
前記設定部は、第１グループに第１発光量を対応付け、前記第２グループに第２発光量を対応付けることを特徴とするマスタ閃光装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】マスタ閃光装置

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、複数のストロボを制御するマスタ閃光装置に関するものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の課題は、閃光発光器をどのような組み合わせで使用する場合であっても、設定の自由度が高く、操作性もよく、さらに、増灯撮影、一灯撮影に関わらず、無駄のない最適な閃光制御を行うことができるマスタ閃光装置を提供することである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明は、以下のような解決手段により、前記課題を解決する。なお、理解を容易にするために、本発明の実施例に対応する符号を付して説明するが、これに限定されるものではない。
請求項１の発明はマスタ閃光装置（５０）及びリモート閃光装置（６０）を含む複数の閃光装置から選択された第１グループに第１調光モード（例えばＴＴＬ）を対応付け、前記複数の閃光装置から選択された前記第１グループとは異なる第２グループに第２調光モード（例えば外部調光）を対応付けることが可能な設定部（５３）と、カメラボディ（３０）から信号を受信可能であり、かつ、前記リモート閃光装置に対して信号を送信可能な送受信部と、前記カメラボディからレリーズ信号に対応する信号を受信したとき、前記第１グループに属する前記リモート閃光装置に対して前記第１調光モードに対応する信号を送信し、前記第２グループに属する前記リモート閃光装置に対して前記第２調光モードに対応する信号を送信するように前記送受信部を制御する制御部とを含むことを特徴とするマスタ閃光装置である。
請求項２の発明は請求項１に記載されたマスタ閃光装置であって、前記第１調光モード及び前記第２調光モードは、ＴＴＬ調光、外部調光、マニュアル調光、非発光から選択された何れか１つであることを特徴とするマスタ閃光装置である。
請求項３の発明は請求項１又は請求項２に記載されたマスタ閃光装置であって、前記設定部は、第１グループに第１発光量を対応付け、前記第２グループに第２発光量を対応付けることを特徴とするマスタ閃光装置である。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明によれば、閃光発光器をどのような組み合わせで使用する場合であっても、設定の自由度が高く、操作性もよく、さらに、増灯撮影、一灯撮影に関わらず、無駄のない最適な閃光制御を行うことができるマスタ閃光装置を提供することができる。